



令和3年11月24日

市政記者クラブ 様

東山総合公園
担当 管理課 松本・太田
TEL 782-2111

NTPホールディングス株式会社からの寄附について

このたびNTPホールディングス株式会社より、いのちつなぐ基金（名古屋市東山動植物園基金）へご寄附をいただくこととなりました。つきましては、下記のとおり感謝状の贈呈式を執り行いますのでお知らせいたします。

記

- 日時・場所** 令和3年12月1日（水）13時00分から
東山動植物園 噴水前広場
雨天時は動物会館レクチャーホール
- 寄附金額** 1,000,000円
- 贈呈式の内容** NTPホールディングス株式会社から目録をいただき、東山総合公園長から感謝状を贈呈いたします。

4 出席者

【NTPホールディングス株式会社】

取締役	小栗 成男	（おぐり しげお）	様
取締役	疋田 亮	（ひきた りょう）	様
取締役	鶴田 和久	（つるた かずひさ）	様

【名古屋市】

東山総合公園長	水谷 薫	（みずたに かおる）	
東山総合公園参事	山盛 康	（やまもり やすし）	
東山総合公園次長	黒邊 雅実	（くろべ まさみ）	

5 参 考

(1) これまでの寄附金

NTP ホールディングス株式会社の傘下である名古屋トヨペット株式会社におかれましては、東山動植物園に対して、絶滅危惧種であるインドサイ・クロサイのえさ代等を寄附するサイ支援活動を平成 22 年度から継続していただいております。令和 2 年度までの寄附金累計額は 6,708,000 円になります。

平成 22 年度	「東山動植物園の支援・協力に関する覚書」を締結	
平成 23 年度	第 1 回サイ支援活動に基づく寄附	(542,000 円)
平成 24 年度	第 2 回サイ支援活動に基づく寄附	(276,000 円)
平成 25 年度	第 3 回サイ支援活動に基づく寄附	(139,000 円)
平成 26 年度	第 4 回サイ支援活動に基づく寄附	(551,000 円)
平成 27 年度	第 5 回サイ支援活動に基づく寄附※	(2,000,000 円)
	※新車累計販売 200 万台達成記念特別寄附を含む	
平成 28 年度	第 6 回サイ支援活動に基づく寄附※	(600,000 円)
	※名古屋トヨペット創立 60 周年記念特別寄付を含む 「東山動植物園再生プランに関する連携と協力の協定」を締結	
平成 29 年度	第 7 回サイ支援活動に基づく寄附※	(800,000 円)
	※東山動植物園 80 周年記念特別寄附を含む	
平成 30 年度	第 8 回サイ支援活動に基づく寄附	(600,000 円)
令和元年度	第 9 回サイ支援活動に基づく寄附	(600,000 円)
令和 2 年度	第 10 回サイ支援活動に基づく寄附	(600,000 円)

(2) 今回の寄附金

この度は「いのちつなぐ基金（名古屋市東山動植物園基金）」へのご寄附となります。なお、令和 3 年 8 月より、基金へ一定額以上を継続的にご支援いただける法人を「東山動植物園いのちつなぐパートナー」として認定させていただき制度をスタートしており、NTP ホールディングス株式会社におかれましては基金の趣旨に賛同いただくとともに、上記制度の中で最高位に位置する「プラチナパートナー」として今後ご協力いただくこととなりました。

(3) NTP ホールディングス株式会社の会社概要

創 立	2010 年 10 月
資 本 金	4 億円
本 社	名古屋市熱田区尾頭町 2 番 22 号
代表取締役	社 長 小 栗 一 朗

(4) NTP グループ

NTP ホールディングス株式会社、名古屋トヨペット株式会社、
ネットヨタ名古屋株式会社、ネットヨタ中京株式会社、
NTP トヨタ信州株式会社、株式会社トヨタレンタリース名古屋、
トヨタホーム名古屋株式会社、トヨタホーム信州カンパニー、
トヨタホーム東海株式会社、株式会社ジェームス名古屋、
NTP インポート HD 株式会社、NTP-VG 株式会社、
NTP-VC 株式会社、NTP-PC 株式会社、NTP-AC 株式会社、
株式会社 NTP カーモスト、株式会社 NT セブンス、NTP システム株式会社

(5) 東山動植物園のクロサイ、インドサイについて

【クロサイ】

北園にてメス1頭（アイ）を飼育。

【インドサイ】

本園にてオス2頭（セラ、ブンタ）、メス1頭（ニルギリ）を飼育。

東山動植物園の取組みといのちつなぐ基金について

同基金は皆様からのご支援を、東山動植物園再生プランの基本理念に掲げる【生命（いのち）をつなぐ～持続可能な地球環境を次世代に～】の実現に向けた当園の取組みのため活用させていただくものです。

当園の取組み

■展示施設整備

動物たちの生き生きとした姿を間近で観覧できるような展示施設の整備

■種の保存・生息地保全

園内での飼育・繁殖・研究、動植物の生息地保全活動への協力など、手を差し延べなければ地球上から消えてしまうかもしれない動植物を守る取組み

■動物福祉の向上

飼育動物の食事や生活スペースだけではなく、本来の生息環境にできるだけ近づけた設備（プール、登り木など）を整え、動物が快適に過ごせるようにする取組み

■環境教育の充実

学習施設などの設置や来園者を対象とした講義や体験プログラムを通じ、野生動物を取り巻く状況や地球環境保護の大切さを伝え、環境を守る行動を促す取組み